



「リレーセンターみなみ」でプラスチック処理の状況を視察



「リレーセンターみなみ」では可燃ごみの中継施設内の一角にプラスチック容器の圧縮処理施設を併設し、2016年から横浜線の南側エリアのみ収集が行われています。

集められたプラスチックの袋は、破袋機を通過してベルトコンベアーで流しながら、汚れているもの、ハンガーやCDなど対象外のものを手作業で除き、1メートル四方で約300kg以内に圧縮し固めます。これを一日2回、4～5個ずつまとめてバイオエネルギーセンターに運びます。

有効なリサイクルとするためには？

その後は中間処理業者に渡され、溶鉱炉の燃料などとして焼却されています。サーマルリサイクルというリサイクルのひとつの手段ですが、手間ヒマをかけて結局燃やすのか、という疑問は残ります。

町田市では他に「リレーセンターみなみ」のような施設を相原地区（2028年稼働予定）と上小山田地区（2037年度稼働予定）に整備する予定です。

新たな施設では2022年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進に関する法律」に対応し、ハンガーやバケツなどの容器以外のプラスチック製品も収集されます。プラスチックごみを資源として活用するためには、汚れたものを混ぜないことや、処理業者が細かく選別する光学選別機（持っている事業者は少ない）を使うことが理想です。とはいえ、私たち一人

ひとりが汚れたものを出さない、異物（包丁が入っていたことも）を入れないなど、意識してプラごみを出すことが第一だと改めて思いました。

新たな学校づくり事業 民間活力導入の中身が問題

2024年2学期から、市立中学校でセンター方式による全員給食が逐次開始されます。旧忠生6小跡地と、成瀬東光寺公園に建設予定の給食センター2ヶ所は、15年契約のPFI(※)方式です。

本町田地区、南成瀬地区の「新たな学校づくり」についてもPFI方式で行うことは明らかになっていましたが、今回の議会で具体的な業務範囲について説明がありました。業務範囲は、設計、建設、維持管理から、給食調理、ラーニングセンター（視聴覚環境のある学校図書館）、放課後施設開放、学校支援ボランティアコーディネーターの支援まで。教育以外の幅広い業務を、事業者が一括して請け負うとのことでした。

給食も学校も安全性や質の確保が最優先であり、子どもたちの権利保障の観点からも注視していく必要があります。

また、リスク分担や修繕の負担等、契約の条件をしっかりと見て、サービス内容や施設利用料、イベント収入などの事業者収入が不透明にならないよう、事業者に対する監視機能が重要であり、コスト削減効果の検証も必要です。

PFI(※)(民間資金等活用事業)公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金、経営・技術的能力を活用する手法で、自治体はそのサービス対価を分割で支払います。



みどりのつぶやき

埼玉県議会で、子どもだけの留守番や外出を虐待として禁じる条例改正案を自民党会派が提案しました。保護者や市民から猛反発の声が上がり、生活者ネットワークも子どもの権利の視点から取り下げを求める声明を発表し、議会期間中に取り下げが発表されました。今回はPTAの反応も早く、反対の署名活動も活発に行われたそうです。議員が市民の思いと逆行する条例を提案した特異な事例だと思いますが、市民は常に議会を監視しておかないとトンデモないことになりかねません。

公式LINE始めました！



活動報告やオンラインおしゃべり会「みどりとねっこ会議」の情報をお届けします。

上の二次元コードを読み込んで、友だち登録をお願いします。

41年目を迎えた 町田・生活者ネットワーク

学校給食に食品添加物と合成洗剤の使用を禁止する条例を町田市に求める市民運動から、1982年に初代の鱒沢サト

を議会に送り出しました。以来40年間、市民の暮らしの中から出てきた問題点を、議会に届けてきました。これまでの歴史を作ってきた皆さんに感謝し、次の世代にバトンをつないでいきます。

町田・生活者ネットワークの…

議員は交代制

議員は議員報酬の一部を生活者ネットワークに寄付し、市民の政治活動に活かします

選挙はカンパとボランティアで
郵便振替口座 00170-1-411651
町田・生活者ネットワーク

カンパを
受付中です！

